

高等学校 令和 7 年度 （ 3 学年用）

教 科 ： 国語

科 目 ： 文学国語

単 位 数 ： 2 単位

対 象 学 年 組 ： 第 3 学年

教科担当 者 ： （1 組：小林）（2 組：齋藤）（3 組：小林）（4 組：小林）（5 組：本間）（6 組：齋藤）（7 組：本間）

使用教科書：標準文学国語（第一学習社）

教科の目標：言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 間
1 学 期	1 単元名 現代の小説(二)						
	【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできる。	【使用教材】 個人端末、プリント	【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 出来事を読み取り、その心情の変化を粘り強く読み取ることができる。	【指導項目・内容】 内海隆一郎「相棒」	【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 出来事を読み取り、その心情の変化を粘り強く読み取ろうとしている。	○	○	○	10
1 学 期	2 単元名 現代の詩						
	【知識及び技能】 文学的な文章における文体的特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解を深め使用できる。	【使用教材】 個人端末、プリント	【知識及び技能】 文学的な文章における文体的特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解を深め使用しようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 繰り返し音読し、積極的に詩の構成やリズムを理解できる。	【指導項目・内容】 吉野弘「生命は」	【思考力、判断力、表現力等】 読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 繰り返し音読し、積極的に詩の構成やリズムを理解しようとしている。	○	○	○	8
1 学 期	1 単元名 現代の小説(二)						
	【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできる。	【使用教材】 個人端末、プリント	【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 出来事を読み取り、その心情の変化を粘り強く読み取ることができる。	【指導項目・内容】 原田マハ「真珠の耳飾りの少女」	【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 出来事を読み取り、その心情の変化を粘り強く読み取ろうとしている。	○	○	○	10
2 学 期	2 単元名 近代の小説(二)						
	【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできる。	【使用教材】 個人端末、プリント	【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 出来事を読み取り、その心情の変化を粘り強く読み取ることができる。	【指導項目・内容】 芥川龍之介「鼻」	【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 出来事を読み取り、その心情の変化を粘り強く読み取ろうとしている。	○	○	○	10

高等学校 令和 7 年度 （ 3 学年用）

教 科 ： 国語 科 目 ： 文学国語

単 位 数 ： 2 単位

対 象 学 年 組 ： 第 3 学年

教 科 担 当 者 ： （ 1 組：小林）（ 2 組：齋藤）（ 3 組：小林）（ 4 組：小林）（ 5 組：本間）（ 6 組：齋藤）（ 7 組：本間）

使 用 教 科 書 ： 標準文学国語（第一学習社）

教 科 の 目 標 ： 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配 当 時 間
2 学 期	1 単元名 近代の詩						
	【知識及び技能】 文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解を深め使用できる。	【使用教材】 個人端末、プリント	【知識及び技能】 文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解を深め使用しようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 読むことにおいて、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えることができる。	【指導項目・内容】 宮沢賢治「永訣の朝」	【思考力、判断力、表現力等】 読むことにおいて、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えようとしている。	○	○	○	10
	【学びに向かう力、人間性等】 繰り返し音読し、積極的に詩の構成やリズムを理解できる。		【学びに向かう力、人間性等】 繰り返し音読し、積極的に詩の構成やリズムを理解しようとしている。				
2 学 期	2 単元名 近代の小説(二)						
	【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできる。	【使用教材】 個人端末、プリント	【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めることができる。	【指導項目・内容】 志賀直哉「清兵衛と瓢箪」	【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めようとしている。	○	○	○	10
	【学びに向かう力、人間性等】 出来事を読み取り、その心情の変化を粘り強く読み取ることができる。		【学びに向かう力、人間性等】 出来事を読み取り、その心情の変化を粘り強く読み取ろうとしている。				
3 学 期	3 単元名 随想〈芸術〉						
	【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできる。	【使用教材】 個人端末、プリント	【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めることができる。	【指導項目・内容】 観世寿夫「花のいざない」	【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めようとしている。	○	○	○	14
	【学びに向かう力、人間性等】 出来事を読み取り、その心情の変化を粘り強く読み取ることができる。		【学びに向かう力、人間性等】 出来事を読み取り、その心情の変化を粘り強く読み取ろうとしている。				